

極度の貧困と飢餓の撲滅など、開発途上国の目標であったミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月、国連サミットで採択された、先進国も含む2030年までの国際社会全体の17の開発目標です。

詳しい内容はコチラ



<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/sdgs/index.html>

SDGsの取り組みを行なっている企業をご紹介します特集ページ

Action

アクション・堺

SAKAI

vol.2

ナカザワ建販株式会社



SDGsを知るための取り組みで住宅業界の仕事の価値を再認識

プロジェクトチームを結成しSDGsのイロハを社内に周知

関西一円に営業拠点をもつ、家づくりの総合サポート企業「ナカザワ建販株式会社」。同社では2020年からSDGsに関するユニークな取り組みを行っています。「最近はいろんな場所でSDGsという言葉を見かけますが、まだよくわからないという人も多いのではないのでしょうか。そこで当社ではSDGsを一から学び、社内で情報共有する冊子を作成することから始めました。」と、SDGs推進室 室長の木村かおりさん。

まずは、各部署からメンバーを集めてプロジェクトチームを結成。SDGsにつながる社内の取り組みを細かく洗い出し、97項目の候補から約1年かけて27項目まで絞り込み、完成した冊子が「The Future」です。そのなかには、「テレワークやWEB会議による移動時間の削減(CO₂削減)」や「梱包レス配送の推奨」など、すでに業務として取り組んでいるものから、「ホワイト企業認定の取得をめざす」など、未来に向けた取り組みも。この活動によって、「たとえば、本社の太陽光発電システムで社屋内の概ね3分の1の電力を補っていることを知ったり、日



常の仕事の多くがSDGsにつながっていることを再認識できました。SDGsというと難しく考えがちですが、日中は電気をこまめに消すなど、身近なところから掘り起こしていくと、どこの企業さまでもたくさん出てくると思います(木村さん)

「ふだんの仕事」がSDGsだった!という気づきからビジネスチャンスへ

さらに、チームメンバーのアイデアで冊子に親んでもらうための動画も自社内で自主制作。「プロジェクトは社長の一声で始まったのですが、社員たちが自主的に提案したり、チャレンジできる風土も当社の魅力です。たとえば、「The Future」にはSDGsの18番目のGOALとして「今と未来を豊かさで繋ぐ」というナカザワのロゴとメッセージを入れ、楽しさや遊び心も加えました」と管理部の福園亮佑さん。

社員にSDGsの理解を深めてもらうことを目的とした取り組みは、さらに「当社の経営理念に基づいた事業活動がSDGsだったという社内の気づきから、今後の新たなビジネスにつなげることが目標です。たとえば、環境に配慮した建材の提案などは、その一つになるでしょう」

今後も社内から社外に向けた周知へと取り組みを広げていく同社。「これからSDGsはISOと同じく、企業にとって当たり前の事業基盤になっていくと思います。情報感度の高い学生さんやお客さまに向けて「SDGsといえば、ナカザワ」という企業のイメージアップにもつながっていききたいですね(福園さん)



今回紹介した企業エピソード

ナカザワ建販株式会社

〒594-1157 和泉市あゆみ野4-3-20
TEL.0725-30-3500
<https://www.nakazawa-kenpan.co.jp>

1980年に岸和田市で建材の卸業として創業。「お客さまに喜ばれる住生活の商品・技術・サービスの提供」をめざし、住宅資材の販売から物流、建築・施工までのワンストップ体制で、建築現場の省力化や工期短縮、コスト削減につながる提案をしています。

住宅業界を中心としたホールディングス体制で、サービスの拡充に取り組んでいます。さらに大阪、奈良、滋賀、和歌山などに展開する10以上の営業拠点のほか、今後益々の業容拡大と広域の拠点展開を進めています。

